

毎年子ども月間と称してお参りしてくれた子ども達にご褒美をあげることをしています。今年も沢山の子たちが受け取ってくださいました。また8月9日に常入寺おやこのつどいゴサマーを開催しました。いつものごとく、流しそうめんバーベキューなどをして楽しみました。みんな楽しそうな顔でしたので、終わって疲れたのですが、やってよかったという思いを持ちました。来年

夏休み恒例 常入寺子ども月間 並びに 常入寺おやこのつどい ゴサマー を開催

はもう少し多めの方々に参加してくださいよう、呼びかけをしつかりしてゆきたいです。子どもと仏様を結ぶことを願っているいろいろな事をしています。皆様方も子ども達に仏様の前で手を合わせるご縁を結んでいただけますようお願い申し上げます。



ライトアップされた東本願寺御影堂門と噴水

月参りの日時変更時間指定、その他のご相談は LINE や電話でお願いします

LINE はこちらから



電 話 076 - 436 - 0816
住職携帯 090 - 3764 - 3983

GohohannNews
ごぼはん
だより

発行 真宗大谷派 常 入 寺
富 山 市 東 老 田 7 8 7 番 地
電 話 (076) 436-0816
FAX (076) 436-2766
携 帯 090-3764-3983
発行責任: 青 井 和 成

開催日 10月31日(火)午後2時より11月1日(水)午後4時まで
講 師 松井勇さん(南砺市)
毎年毎年、絶えることなく勤められてきたホンコハン 親鸞聖人のご命日を縁として勤められてきたホンコハンホンコハンが勤められてきた歴史の流れに乗りませんか?
※10月31日夜 おやこのつどい By ほんこさん をつとめます

ほんこはん
つとまります

【第6回夏休み！高岡で遊ぼう開催趣旨】

今年も「夏休み！高岡で遊ぼう！」を開催させていただきます。
「東日本大震災」から6年が経ち、昨年4月には「熊本地震」が発生しました。自然災害は毎年のように起こり、まだまだ進まない被災地の復興が課題となっています。
しかし、人間の通信が引き起こした、福島第一原子力発電所の事故が起こった「福島」では、自然災害とは異なる、今までにはない不安や問題が存在しています。決して目に見えない放射能は、その被害だけではなく、疲弊や分断を生み出しています。

「子どもを何も気にせずに外で遊ばせたい」
「福島の海には二度と入れさせたくない」
「周りの批判を気にして、放射能の話題を口にできない」

これまで私たちは、保養事業を通して、様々な方の姿や声に出遇わせていただきました。保養事業がどれだけ具体的な効果があり、参加されてきた方の不安を和らげてくれているのか、私たちには正直分かりません。しかし、このような保養を必要とされている方が、まだまだたくさんおられること。何より、「また来るね！！」と笑顔で帰っていった子どもたちにも、今年もほんの「ひと時」であっても、放射能のことを気にしない時間をプレゼントできたらと思います。

今年いただいた声

原発事故の捉え方は、ますます、それぞれの考え方が次々となつてきているようです。ですから変わらなくずにおいしい野菜やお米をいただくだけでも、本当に嬉しく思います。たまねぎもじゃがいもも甘くておいしかったです。ありがとうございます。

震災が無ければなかなか出会うきっかけのなかった高岡の方々のおかげで、息子はいつも高岡での精神を胸に成長し、今年四度目にして小学生最高学年での参加を果たすことができました。感謝に感じております。

Rは昨年まで高岡に参加して、いつか自分も人の為に役に立ちたいと、看護師を目指す事にしました。Rから一言！「みなさん元気がですか？夢に向かって勉強頑張ります。またお会いできるのを楽しみにしています。」

メロンパン、ドラえもん等喜んでしょね。何より高岡の方々の温かい気持ちに触れ、優しい気持ちになれた事です。ありがとうございます。

Iは話が止まりません。Mは夏休

みの楽しみが全部終わってしまつたとどんよりしています。とてもいい経験をさせていただきました。感謝いたします。

福島の現状、保護者の思い」を問われ、戸惑ってしまいました。震災から6年もたつと福島市で普通に暮らしている様に見える人達の事はTVや新聞等でも話題にならず、サポートも無いんですね。やはり、放射能による避難地域の方々、自主避難されていらっしゃる方々は今も支援の手が差し伸べられていて、逆に福島市に残って生活をしている私たちに何も無い…不満です。避難もせずに居るのだから心配していないのだろうと思っているのだから勝手に思っています。基本的に福島の人って声を上げない人だと思えます。おとなしくしていると言うか行動しないと言うか…。もちろん、全く気にしていない方もいらっしゃるようですが、生活を考えて避難出来なかったと聞きます。

ご近所から頂く食べ物の産地が気になり…水も気になり…食費も気になり…祖父母は米を作っていますが、原発事故後食べてはいませんが、祖父母にちよつと買われてしまうこともあるけど、遠くの米を買います。もちろん野菜も…お魚は

太平洋のものは全くというほどにしません。でも給食では福島のもや太平洋の魚が出されていて食べないわけにはいきません。今後も汚染は続く、どうしたら良いのか悩みます。

震災前、我が家は、海水浴場のすぐそばでした。津波さえなければ、いつでも歩いて行けた海水浴場でしたが、この何年か海で遊ぶ事さえ出来なかった。海の恐ろしさを知っているのと又海の楽しみを思い出す、良い体験です。

来年参加するよと元気に帰宅したTです。お土産まで頂きスタッフさんのおもてなしや1つ1つの企画に感動しています。

この程度の放射線量であれば安全だとの政府報告を信じようとした。信じていない気持ちも多いのですが、そう思う事にしないと福島に残れないので…。

※これは保護者の方々と日程中連絡をとるなかでいただいた声や終了後アンケートでいただいた声を掲載させていただきます

皆様のご支援により 「第6回 夏休み！高岡で遊ぼう！」も 無事開催することができました 本当にありがとうございました

ご支援もいただいた皆様に今年いただいた笑顔のお裾分けです

※収支報告につきましては後日改めてさせていただきます



第6回夏休み！高岡で遊ぼう！実行委員会

本年も皆様の支援金のご協力により福島の子どものための保養事業である「第6回 夏休み！高岡で遊ぼう！」を無事開催することができました。今年も五泊六日で開催しましたが、都合が合わなく私はほんの少しの手伝いとなりました。

福島から27名の子ども達がやってきて高岡市や五箇山で生活をしました。五箇山ではイワナのつかみ取り、島尾海岸での海水浴を楽しんでいました。

保護者さんらの声によりますますまだまだ放射線を気になさって生活をなさっている姿が垣間見られたり、放射線についての自分の思いを言にくいということもある。ともうようです。また放射能を浴びて生活している人たちという視線がすごく気になさっているという発言もありました。

富山にいととなかなか福島のことが入ってきません。また入ってきてても復興に向かって一生懸命頑張っておられる姿だけでも知れません。なかなか直接声を聞くことができません。そういう意味でも私にとつて大事な場があります。

また共に生きるってどういうことなのかって私に問いかけられている場でもあります。大事な夏を今年も過ごさせていただきまし

【お知らせ】

お寺の横にある畑に銀杏の木があります。10月になると実が徐々に実りだし墜ちていきます。

そこで皆様にお裾分け、自宅で食べられる分に限り銀杏をご自由に拾ってってください。
(お寺に声をかける必要ありません)